



日経平均株価の史上最高値は1989年12月29日に記録した **38,957円**（終値はその日の38,915円）。

①—②

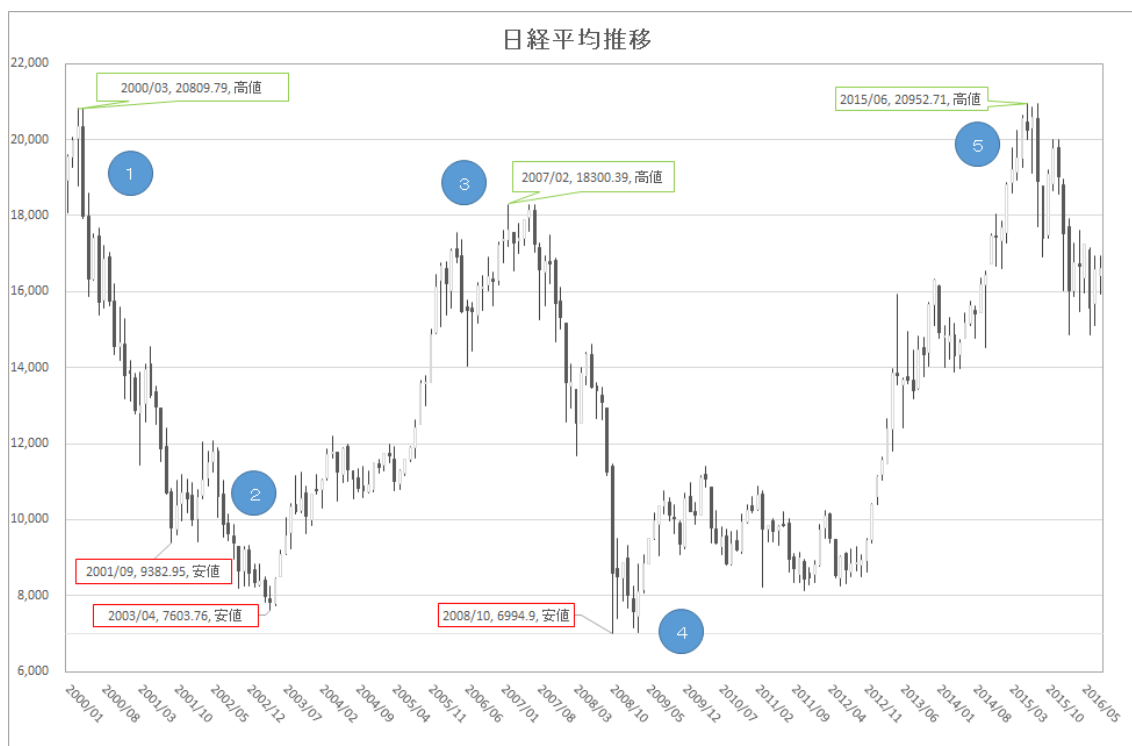
2000年の最高値は **20,809円**だった。米国のITバブル崩壊により下落基調が続き、2001年9月11日の同時多発テロ直後には 1万円割れとなり、その月は **9,382円**の安値をつけた。翌年は反動でやや切りあがったものの再び下落基調となった。

②—③

2003年4月に **7,603円**の安値をつけていたが、2003年5月にりそな銀行が破たん。不良債権の膿出しが済んだとの見方から一転して反転。2006年1月にライブドア事件が発生して一旦調整されるも2007年2月には **18,300円**の高値を記録。

③—④

その後、パリバショックや原油高、ベアスターズ破たん、リーマンショックを経て2008年10月に 7千円割れとなった（バブル崩壊後の最安値=**6,994円**）。



④—⑤

その後反転し、フラッシュクラッシュや欧州債務危機、東日本大震災を経験し底値圏でくすぶっていたが、アベノミクス効果や異次元金融緩和により、2万円を回復。2015年6月に**20,952円**の高値をつけたがその2ヶ月後に中国の突然の人民元切り下げにより反落。いった持ち直したものの、2016年初頭には中国の信用不安や原油下落等により株安が進んだ。

【1文で・・・】

2000年からの日経平均株価は、2万円から7千円を行ったり来たりしていました。